

平成27年度「研究大学強化促進事業」フォローアップ 進捗状況概要 北海道大学

目 的

「世界の課題解決に貢献する」を本学の目指すビジョンとし、10年後に以下を実現する

- ・優れた研究ガバナンス (1) 本学の個性を組織的に発揮する大学ガバナンス体制 (2) 大学経営のためのURA職の充実・強化体制
- ・イノベーション・社会実装で先進 (1) 組織的協働による実用化推進と社会実装システム
- ・世界の頭脳が行き交う (1) 世界から多様で優秀な人材を獲得・登用するシステム (2) グローバルな研究を推進する体制

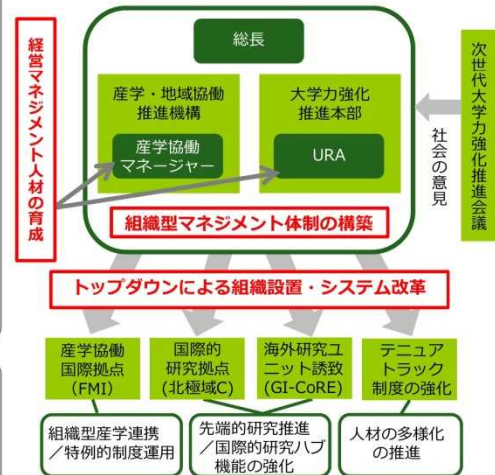
これまでの実績・進捗状況

- ・次世代大学力強化推進会議の設置 (社会との協働による改革策定)
- ・大学力強化推進本部の設置 (トップダウン型改革の推進)
- ・産学・地域協働推進機構の設置
(社会実装のための組織型協働システムの推進)
- ・大学経営人材としてのURA職の創設
(大学経営のためのURAの獲得と強化)
- ・フード&メディカルイノベーション(FMI)国際拠点の設置
(特例制度による社会実装のための産学協働推進拠点の設置)
- ・北極域研究センターの設置
(世界課題解決のためのランドマーク型研究拠点)
- ・国際連携研究教育局(GI-CoRE)の設置
(グローバルな研究の組織的連携を推進するシステム)
- ・北大型テニュアトラック制度の推進
(多様な人材の積極的登用のための全学的人事システム)

今後の課題と展望

- ・基礎研究力の強化(多様性を確保しつつ、個性豊かなランドマーク型研究の創成)
- ・社会実装のための組織協働体制の拡充(企業研究拠点の誘致、地方自治体との協働)
- ・マネジメント人材の増強・強化(URA職の拡充、産学協働マネージャー等との統合)
- ・マネジメント人材の多様化への対応と組織化(財務、ファンディング、学内事業化等)

世界の課題解決に貢献する北海道大学へ 研究力強化のための組織型マネジメントの推進



フォローアップ結果

評点区分：順調に進んでいる

全体を通じた所見

- 学長のリーダーシップの下、大学のマネジメント改革が進められており、その中で、URAを「経営マネジメント人材」として位置付け、本事業全体が順調に進んでいることが確認された。
- 本事業を効果的に活用しつつ、この改革が確実に実行されることを期待する。

特に優れた点

- 大学力強化推進本部 URA として、将来的には 13 名の配置を予定しており、本部と部局長を通して部局と連携を図る URA の位置づけは、特色ある取組であり、ロールモデルとなることが期待される。

期待する点

- URA 制度の部局への更なる浸透を図り、部局への制度の定着・促進に一層努めることを期待する。
- 研究 IR の上位として、大学 IR の充実と可視化が更に推進されることを期待する。